



教育目標 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
(1) 確かな学力・自ら学んでいく生徒を育成する
(2) 豊かな心・他者を思いやる生徒を育成する
(3) 健やかな体・健康で活力のある生徒を育成する

最近あったうれしかったこと ～心のこもったコミュニケーション～

前原中学校長 今井 弘

ようやく空気も秋めいてきましたが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。先日実施いたしました体育祭では、お忙しいところ多くの保護者の方々にお越しいただき、子供たちにとっても良い思い出になったことと思います。来月の合唱祭も、ぜひお子様の様子をご覧いただければ幸いです。

さて、最近あったうれしかったことですが、少し前の火曜日、廊下ですれ違った生徒に挨拶をしたときのことです。その生徒は、すれ違ってしばらくしてからこちらを振り向き、大きな声で「校長先生、この間は応援に来てくださり、ありがとうございます」と言いました。私も振り向くと、そこには笑顔の生徒の姿がありました。私が驚いたのは、応援に行ったのが2日前の日曜日ということです。おそらく2日間、次に会ったときには忘れずにお礼を言おうと心にとめていたのでしょう。一度はすれ違ってしまったのにそのことを思い出し、感謝の気持ちを言葉にして伝えてくれました。私はそのことに感動せずにはいられませんでした。

私には、子供のころから大切にしている4つのコミュニケーションがあります。それは、返事ができること、挨拶ができること、お礼が言えること、ごめんなさいが言えることです。この4つが言えない人は、社会に出ても通用しないし、特にお礼とごめんなさいは、次にその人に会ったときに言えることが大切だと教わりました。子供心に社会で通用しないのは困ると思い、意識して実行しました。すると、周りの人から褒められたり、感心されたりしました。最初は、コミュニケーション・スキルとして始めたことでしたが、相手の人たちが笑顔になるのを見て、自然と言葉や態度に気持ちを込めるようになっていました。

今回紹介した生徒からの笑顔でのお礼は、私が大切にしている心を込めたコミュニケーションでした。そのことがとてもうれしく、今でも思い出だけで幸せな気持ちになります。このように、言葉には力があります。人を傷つけることもあれば、人を幸せな気持ちにするもあります。毎年、入学式で「ありがとう」と「ごめんなさい」が言えるようにと話しているのは、中学校生活の中で心が通じ合うようなコミュニケーション能力を身につけてほしいからです。心のこもったコミュニケーションにより、お互いを理解し合い、尊重し合うことの大切さを学び、子供たちには社会に巣立ってほしいと思います。



学校と教育委員会からのお知らせ

◇ 自転車への交通反則制度(青切符)の導入

令和8年4月1日に道路交通法の一部を改正する法律(令和6年法律第34号)が施行され、16歳以上の者による自転車の交通違反に対して交通反則通告制度が導入されるにあたり、警察庁が自転車の基本的な交通ルールと警察の交通違反の指導取締りの基本的考え方を取りまとめた標記資料を公表いたしました。以下のURLをご確認ください。

「自転車を安全・安心に利用するためにー自転車への交通反則通告制度(青切符)の導入ー【自転車ルールブック】」

URL：https://www.police.pref.chiba.jp/kotsusomuka/traffic-safety_defend-05.html



◇ 船橋市中学校総合体育大会駅伝の部

下記の通り、今年度も総体駅伝が開催されます。応援よろしく願います。

日時 10月12日(土) 予備日10月19日(日)

7:00～ 開門

7:45～ 受付

8:40 開会式

9:20 女子駅伝出発

10:30 男子駅伝出発

12:20 閉会式

会場 船橋市運動公園(公園内ロードレース)



◇ ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト(アルティリー千葉公式戦観戦・第二弾)

千葉県環境生活部スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課から、標記の件につきまして、案内がありました。

(目的) 子どもたちがスポーツへの夢やあこがれを抱くことができるように、プロバスケットボール選手の卓越したパフォーマンスに触れられる公式戦へ招待します。

(内容) 10月～1月に行われるアルティリー千葉公式戦ホームゲームへ無料招待を実施いたします。

(対象) 県内の在学中学生を対象に、生徒1名とその保護者1名の2階席ペアチケット(無料招待)を1,800組(予定)に配付します。

申込用URL：<https://altiri.jp/news/2025-26/chibayume>

